

→ 1. 設計の理念と考え

■ 「それぞれのプラットフォーム」が重なり立ち現れる、周辺世界に開かれた「関係性の風景」

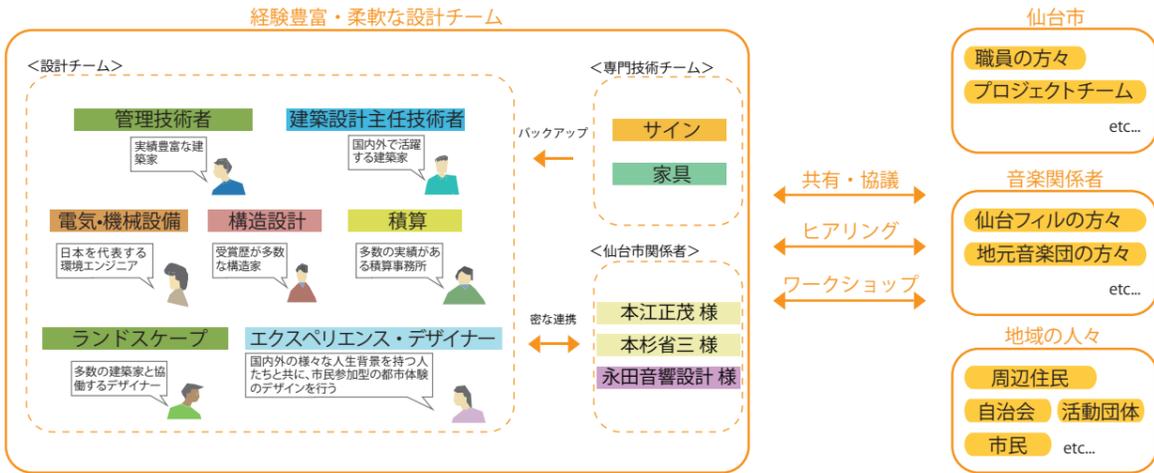
・私たちはこれまでの建築設計で大切にしてきた積み重ねを踏まえ、「リジェネラティブ・commons」としての震災文化醸成。「それぞれのプラットフォーム」が重なり立ち現れる「関係性の風景」の建築を重要なテーマとして考えます。

・音楽ホールと震災メモリアルが複合する建築で私たちが目指すのは、過去の経験や自然への畏怖を胸に刻み学びながら、人それぞれの形で、しかし共になって、他者や環境に思いを馳せ、未来の日常へと逞しく想像力を発揮し、ダイナミックに変化・再生していく震災文化の醸成です。他者の経験や自然の振る舞いは想像しきることが難しいけれど、それでもさまざまな「他者」「経験」との出会いから学び、それぞれにとっての震災をそれぞれの日常に刻み更新していくことはできます。そのためには、「日常」(日々の創作や学習などに使い倒すこと、一息つくこと、あるいは外の街での暮らしなど)と「非日常」(出演・鑑賞や、震災メモリアル展示、イベント参加、多くの人ととの偶発的な出会いなど)とが連なり、相互に影響しあって更新されていくような場所、多様なアクティビティや感情を支え、内外に広がる多様な風景の集まる建築をつくるのが重要だと考えています。

・自然・人為の入り混じる仙台の緑豊かな風土や、豊かな歴史、風景のありようから学んだうえで、周辺環境と連続する「それぞれのプラットフォーム」が重なり寄り集まった「関係性の風景」の集合体として、この建築を提案します。仙台フィルハーモニーの拠点として高度な機能にももちろん応えながら、日常の豊かさや活発な市民活動等の器となり、そして時には演者と鑑賞者の関係が入れ替わるような、懐の広く深い、不完全さ・不均質さやダイナミックな変化を祝福する大らかさを兼ね備えた建築を提案します。

→ 1. 設計の理念と考え、 2. 設計を進める上で特に留意すること

■ 経験豊富で柔軟なチーム編成で仙台の方々の想いをかたちにするプロセスを重視します



・実績豊富な建築家の管理技術者と国内外で活躍する建築家の主任技術者がチームを組みます。

・利用者の目線になって仙台や震災を考えつつ、専門家として適格かつ正確に業務に当たります。

・管理技術者及び主任技術者は子供や学生とのワークショップ経験も豊富なため、その経験を活かして子供から大人まで様々な意見を取り入れて設計に反映し、地域の方々と共同で計画を進めていきます。

・ランドスケープデザイナーと協働することで、敷地全体のランドスケープと調和がとれる外構計画とし、青葉山の豊かな自然と調和しつつ、様々な活動を不自由なく展開できる環境を実現します。

・様々な用途・規模の経験が豊富である日本を代表する構造、設備のエンジニアを加え、専門的なシミュレーションや解析も可能なチーム体制とします。密な連携を元にした、万全なチーム体制で本業務に取り組みます。

・エクスペリエンス・デザイナーをチームに迎え、これまでのような展示方式だけでなく、日常のアクティビティの中に隣り合い、経験される震災メモリアルの経験を作り上げます。市民の皆さんのそれぞれのメモリアルや震災との向き合い方を模索し、建築計画に有機的につなげるワークショップ・イベントの開催などを検討します。

・その他のサインや家具などの専門技術チームを組むことで、設計チームをバックアップします。

・市役所の方々や、仙台フィルを中心とした音楽関係者、地域の人々を交えた丁寧な調査・ヒアリングやテーマ別のワークショップ等を行い、問題発生や手戻りを事前に防ぎます。

・地域の日常をより深く理解するために、設計事務所の分室の開設を検討します。

→ 2. 設計を進める上で特に留意すること

■ 手戻りのない効率的な工程計画

・先進事例を職員の方々とともに確認し、目標を共有しながら業務を進めます。

・ヒアリングや事前調査を重点的にを行い、課題を抽出し要望事項を初期段階で確実に設計内容に反映し、情報共有を円滑に行うことで手戻りや確認漏れを防止します。

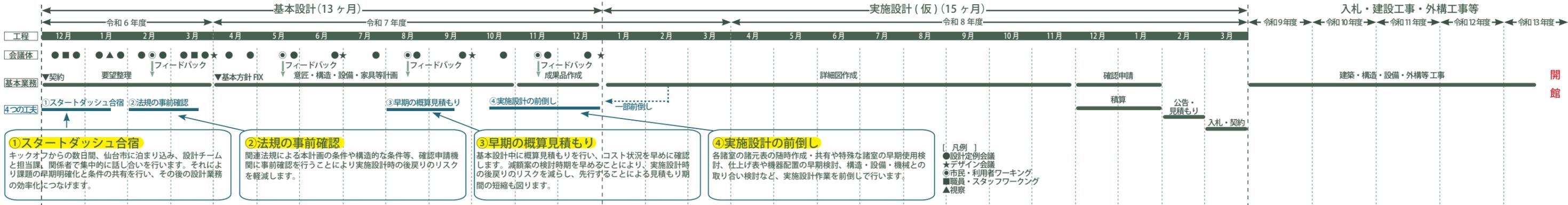
・意匠・構造・設備・積算の連携を密にする設計チーム会議を定例化しスケジュールとコスト管理を徹底します。

・設計状況を図面、模型や3Dパースを都度作成し、設計チーム内・職員の方々と情報を共有することで精度の高い成果物をまとめます。

・ワークショップやヒアリングなどで得られた知見や特徴を分析して、基本設計にフィードバックする仕組みをつくります。

・先行型基本設計 → タイムな設計スケジュールの中で計画を実現するために基本設計期間に4つの工夫を用います。

・併行する展示計画や管理運営指針、先行事業の計画と連带的に設計します。



主な敷地周辺施設



→ 3. コスト削減に関する提案

■ 建築形状を活用した効率的なコスト管理

・予算内での実現のため、設計チームは積算チームと一体になってフェーズごとに徹底したコスト管理を図り、常にVE検討を考慮しながら設計を進めます。

[イニシャルコスト削減]

・使用する構造材には可能な限り一般流通材を使いコストを抑えます。

・PCa化を検討し、工期短縮と躯体の高品質化・長寿命化を図ることでLCC、LCCO2の削減をですと測ります。

[ランニングコスト削減]

・建築形状を生かした環境負荷軽減メニューを検討し、コストや効果の比較検討を重ね、可能な限り実現することでランニングコストにも配慮します。

・パッシブとアクティブ手法を効率的に組合せ、建築形状を活用した環境負荷軽減対策を検討・採用します。

→ 4. 将来の大規模改修を想定した設計上の配慮

■ 増改築を想定した建築構成

・各空間をプラットフォームの考え(技術提案書参照)とすることで、プラットフォームを増やしたり形を変えたりすることで、増改築に対応します。

・構造体として必要な耐力壁を細かい部屋割りには入れず、将来的な部屋の変更にも容易に対応できるようにします。

・設備機器の更新を容易に行えるよう適切な位置(トラス内側等)と数量で配管を行います。

・維持管理・更新が容易な仕上とします。

→ その他の設計上の配慮

■ 誰もが円滑に利用できるユニバーサルデザインの徹底

・上下方向の空間のスレを作りながらもそれらをスロープ等で繋ぐことで、移動の不自由さを感じさせないものにします。

・適切な位置にエレベータを設置することで、上下移動の負担を軽くします。

→ その他の設計上の配慮

■ 面積表について

各階ごとに床面積をまとめています。延べ床面積は31,650m²。

| | | |
|--------|-------|----------------|
| 1F床面積 | 7300 | m ² |
| 2F床面積 | 8820 | m ² |
| 3F床面積 | 6930 | m ² |
| その他床面積 | 8600 | m ² |
| 延べ床面積 | 31650 | m ² |

| エリア名 | 室名 | 詳細 | 面積(m ²) | 小計(m ²) |
|----------------|-------------------|-----------|---------------------|---------------------|
| ホールエリア | 大ホール | 舞台 | 1300 | |
| | | 大楽屋 | 150 | |
| | | 中楽屋(1F) | 100 | |
| | | 楽屋事務室 | 64 | |
| | | ピアノ室 | 60 | |
| | | 舞台倉庫 | 80 | |
| 文化芸術創造支援・活用エリア | 音楽リハーサル室 | リハ室 | 315 | |
| | | 洗面所 | 50 | |
| | | 楽屋等 | 0 | |
| | | ピアノ庫 | 55 | |
| | | 備品庫 | 40 | |
| | | リハ室 | 382 | |
| | 舞台芸術リハーサル室 | 洗面所 | 50 | |
| | | 楽屋 | 46 | |
| | | ピアノ庫 | 46 | |
| | | 備品庫 | 55 | |
| | | リハーサルラウンジ | 121 | |
| | | 中継室 | 200 | |
| 美術文化創造支援・発信エリア | 市民研究活動スペース | 舞台工房 | 125 | |
| | | 衣装工房 | 95 | 1534 |
| 広場エリア | 交流ロビー | 交通イベントロビー | 100 | 100 |
| | | カフェ1F | 1400 | |
| 運営エリア | 仙台フィルハーモニー管弦楽団事務局 | コインロッカー | 20 | 1470 |
| | | 事務所執務室 | 42 | |
| | | 楽屋庫・楽屋庫 | 50 | |
| | | 楽屋員ラウンジ | 152 | |
| | | 楽屋員ラウンジ | 100 | |
| | その他 | 中央監視室 | 90 | |
| | | 控室 | 73 | |
| | | 備品庫 | 150 | |
| | | 設備・通路等 | 1461 | 2118 |
| | | 延床面積 | 7300 | |

2F

| | | | | |
|----------------|------------|-------------|------|------|
| ホールエリア | 大ホール | 客席(2F) | 530 | |
| | | 客席(1F) | 900 | |
| 文化芸術創造支援・活用エリア | 練習室群 | ホワイエ(1F) | 1170 | |
| | | 小楽屋 | 120 | |
| | | 楽屋まわりの諸室 | 236 | |
| | | 舞台 | 12 | |
| | | ピアノ室 | 35 | 3123 |
| | ワークショップゾーン | 小練習室 | 80 | |
| | | 収録室 | 36 | |
| | | 創作アトリエ | 170 | |
| | | 子供のための空間 | 210 | 496 |
| | | 展示スペース | 375 | |
| 美術文化創造支援・発信エリア | 市民研究活動スペース | 企画展ゾーン | 62 | |
| | | アーカイブライブラリー | 50 | |
| | | 閲覧スペース | 62 | |
| | | 情報検索スペース | 100 | |
| | | 書庫(開架・閉架) | 150 | |
| | | プロジェクトルーム | 96 | |
| 広場エリア | 交流ロビー | 多目的交流スペース | 140 | 1135 |
| | | ゲートウェイスペース | 100 | |
| | | クワイエットスペース | 200 | 380 |
| 運営エリア | 管理運営に必要な諸室 | 情報コーナー | 100 | |
| | | カフェ2F | 120 | |
| | | 控室 | 85 | |
| | | 会議室 | 61 | |
| | | 受付カウンター | 140 | |
| その他 | その他 | 書庫(開架・閉架) | 50 | |
| | | 設備・通路等 | 3350 | 3686 |
| | | | 延床面積 | 8820 |

3F

| エリア名 | 室名 | 詳細 | 面積(m ²) | 小計(m ²) |
|----------------|------------|-------------|---------------------|---------------------|
| ホールエリア | 大ホール | ホワイエ(2F) | 880 | |
| | | 中楽屋(2F) | 250 | |
| | | 客席 | 310 | |
| | | ホワイエ | 300 | |
| | | 中楽屋 | 102 | |
| | 小ホール | 小楽屋 | 80 | |
| | | 楽屋事務室 | 20 | |
| | | 楽屋まわりの諸室 | 40 | |
| | | 男女トイレ・シャワー室 | 50 | 902 |
| | | 練習室 | 150 | |
| 文化芸術創造支援・活用エリア | ワークショップゾーン | WSスタジオ | 225 | 375 |
| | | 常設展ゾーン | 930 | |
| 美術文化創造支援・発信エリア | 展示スペース | 倉庫 | 100 | 1030 |
| | | 展望レストラン | 200 | 200 |
| 運営エリア | 管理運営に必要な諸室 | 執務室 | 140 | |
| | | 作業室 | 60 | |
| | | 来館者打合せスペース | 60 | |
| | | 情報・資料室 | 40 | |
| | | 備品庫 | 230 | |
| | | 委託業務員室 | 100 | |
| | | 設備・通路等 | 3793 | 4423 |
| | | 延床面積 | 6930 | |

その他

| | | | | |
|-------------|-----------------|--------------|--------|------|
| ホールエリア(B1F) | 小ホール | 搬入口 | 100 | 100 |
| その他(B1F) | 地下駐車場(床面積には含まず) | 設備・機械室等 | 3200 | |
| | | 中水槽・井水槽・機械室等 | (3500) | |
| その他(B2F) | その他 | 設備・機械室等 | 1800 | |
| | | 客席下チャンバー | 2000 | |
| その他(4F) | その他 | 設備・機械室等 | 1500 | 8500 |
| | | 受電設備、室外機置場等 | 8600 | |
| | | | 延床面積 | 8600 |

